

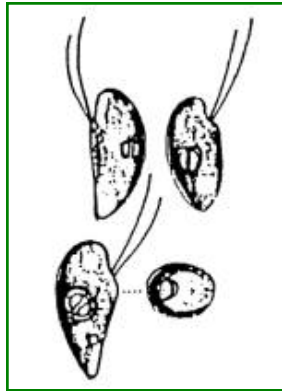
瀬田川プランクトン調査結果速報

～第31報～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年11月4日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Rhodomonas sp.
(ロードモナス)
褐色鞭毛藻綱

細胞は、長楕円形で長さが約10 μmと小型であり、葉緑体は少し赤みを帯びている。
2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。
前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、先週に引き続きロードモナスが最も多かった。その他に、淡水赤潮の原因となる黄色鞭毛藻のウログレナが、約4ヶ月ぶりに見られた。大型の緑藻であるクロステリウムやスタウラストルムも、数は少ないが見られた。動物プランクトンは、ハネウデワムシとスナカラムシなどが多かった。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第1優占種		個体数 (個体/l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	340

第2優占種		個体数 (個体/l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	100

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当

平成15年11月4日

第31報

(2) 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Anabaena spiroides</i> var. <i>crassa</i> *	2		
(藍) <i>Oscillatoria</i> sp.*	1		
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	60		
(黄鞭) <i>Pseudokephyrion gallicum</i>	10		
(黄鞭) <i>Ochromonas</i> sp.	30		
(珪) <i>Cocconeis placentula</i> var. <i>leneata</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	60		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	140		
(緑) <i>Closterium aciculare</i> var. <i>subpronum</i>	7		
(緑) <i>Staurastrum dorsidentiferum</i> var. <i>ornatum</i>	2		
(藍) 藍藻綱	3	0.9	7.1
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	100	28.4	5.2
(珪) 珪藻綱	30	8.5	14.8
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	2.8	0.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	200	56.8	35.7
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	9	2.6	36.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	352	総体積	3.53E+05
種 類 数	12	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)
ただし*印の種は群体数(群体 / ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。